

WKCフォーラム 2014年10月1日 14:00~16:00 WHO神戸センター

高齢者のためのイノベーション

～アドヒアランス向上のために：薬剤治療と食事療法～

# 服薬と栄養についての アドヒアランス —健康で幸せな高齢期のために—

小田 利勝  
神戸大学名誉教授





# アドヒアランス Adherence

聞いたことがありますか？

*Akashi Kaikyo Bridge*  
*photo by T. ODA*  
*2004. 12. 1*

# このフォーラムのポスターで見た？！

従来、医療における患者の療養行動は、「医療者からの指示に患者がどの程度忠実に従うか」というコンプライアンス概念のもと、受身の立場で評価されてきました。しかし、治療の過程では、服薬、食生活の改善、生活習慣の修正など、**患者と医療者が相互に合意した治療方針に患者自身が主体的に参加する必要性**が重視されるようになってきました。この概念を**アドヒアランス**と呼びます。

ちょっと、簡単にしますと  
服薬、食生活の改善、生活習慣の  
修正など、

患者と医療者が相互に合意した治  
療方針に患者自身が主体的に参加  
すること。

噛み砕いて言いますと

○どういう治療をするか

○どんな薬をどれくらいどのように飲むか

○病気に良い食事や悪い食事は

○問題のある食事の仕方や調理の方法は

こうしたことについて



○医師や看護師、薬剤師、栄養士などの説明をしっかりと聞く

○わからないことや疑問な点、不安に思うことなどを率直に聞いたり話したりする



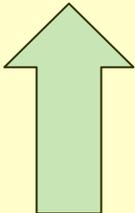
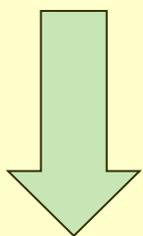
自分も十分に納得した上で



よし、それでは、そのやり方に従って病気を治そうと、自分から進んで治療に励むこと

医師  
看護師  
薬剤師  
栄養士

説明



質問

納得・合意

患者

治療

リハビリ

栄養

生活習慣  
の改善

このフォーラムのポスターでは、このようにも言っています。

**アドヒアランス**は、治療を成功に導く第一の決定要因です。

**アドヒアランス**が不十分であれば、治療効果を最大限に引き出すことは難しく、ひいては、医療制度における全般的な有効性を引き下げることにもつながります。

病気を治したい・健康を取り戻したい



○診察、治療を受ける

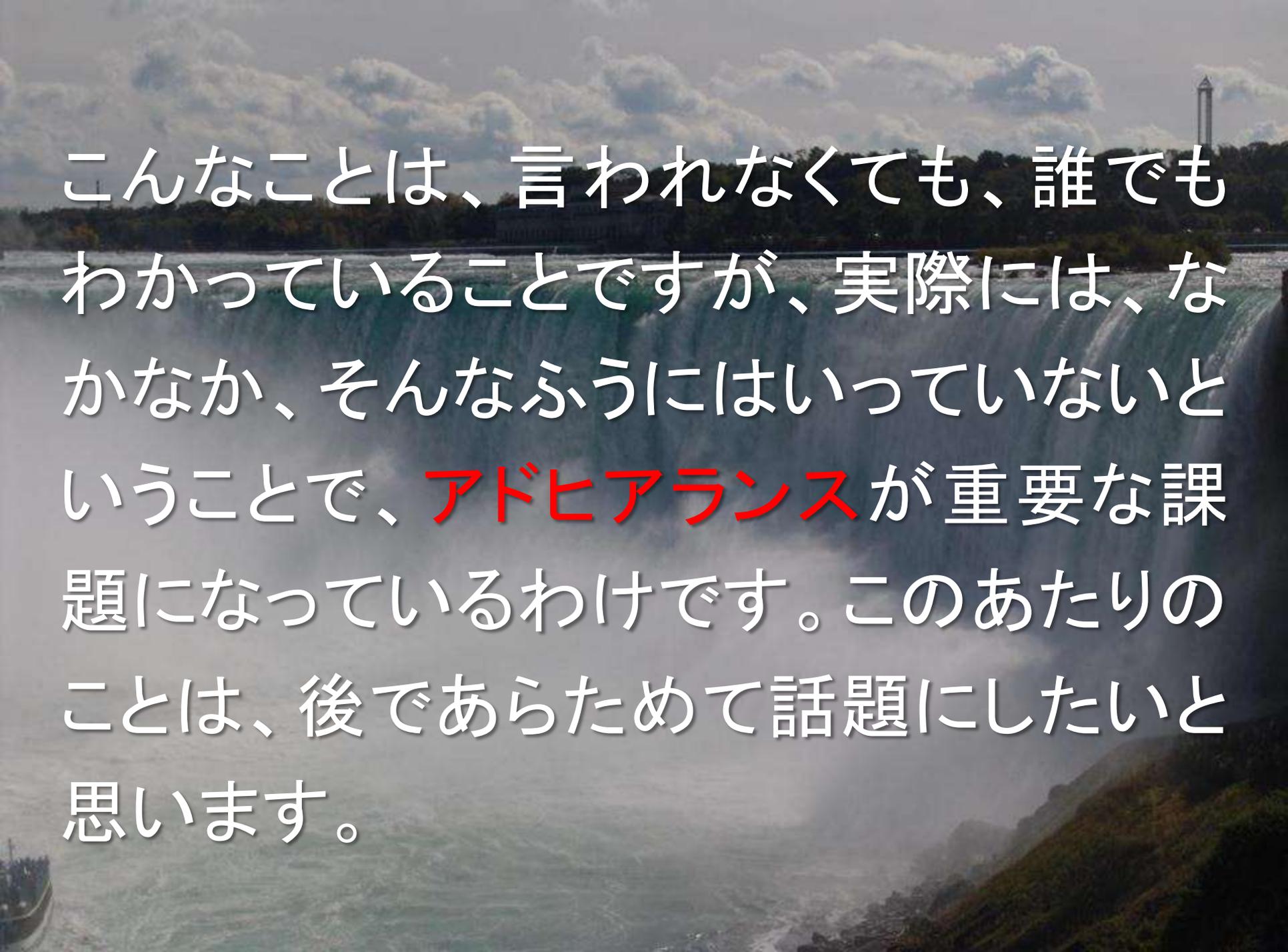
○食生活や生活習慣の改善の指導を受ける



患者本人が治療方針や指導をよく理解して、その気になって積極的に病気を治そうとしないかぎり、治療効果も指導の成果も上がらない。

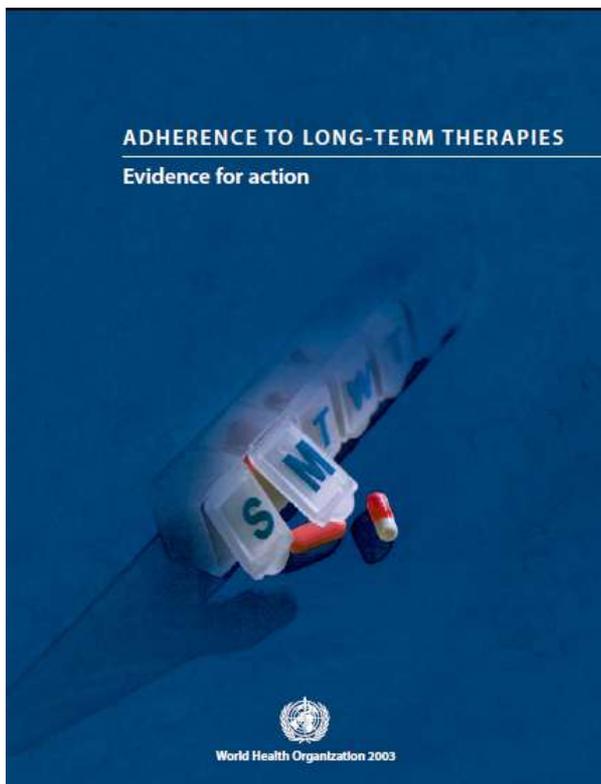
## 要するに

アドヒアランスが不十分であれば、治療効果が薄く、治療にかかる時間も費用も無駄になり、医療制度も十分に活かされないことになる。そして、付け加えれば、医療まがいの行為や薬まがい、栄養食品まがいの不審物にだまされてしまうことにもなる。

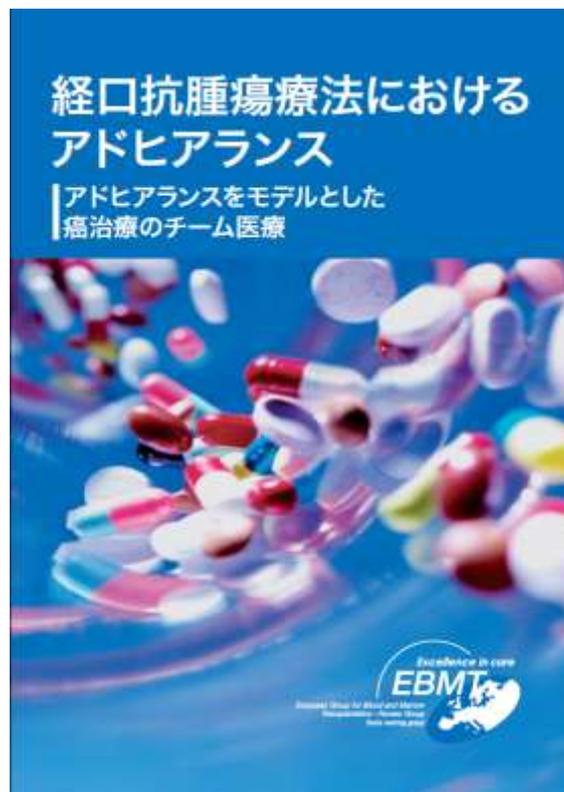


こんなことは、言われなくても、誰でもわかっていることですが、実際には、なかなか、そんなふうにはいっていないということで、**アドヒアランス**が重要な課題になっているわけです。このあたりのことは、後であらためて話題にしたいと思います。

**アドヒアランス**について、もっと知りたい方は、次のものをご覧ください。インターネットで入手できます。



[http://www.who.int/chp/knowledge/publications/adherence\\_report/en/](http://www.who.int/chp/knowledge/publications/adherence_report/en/)

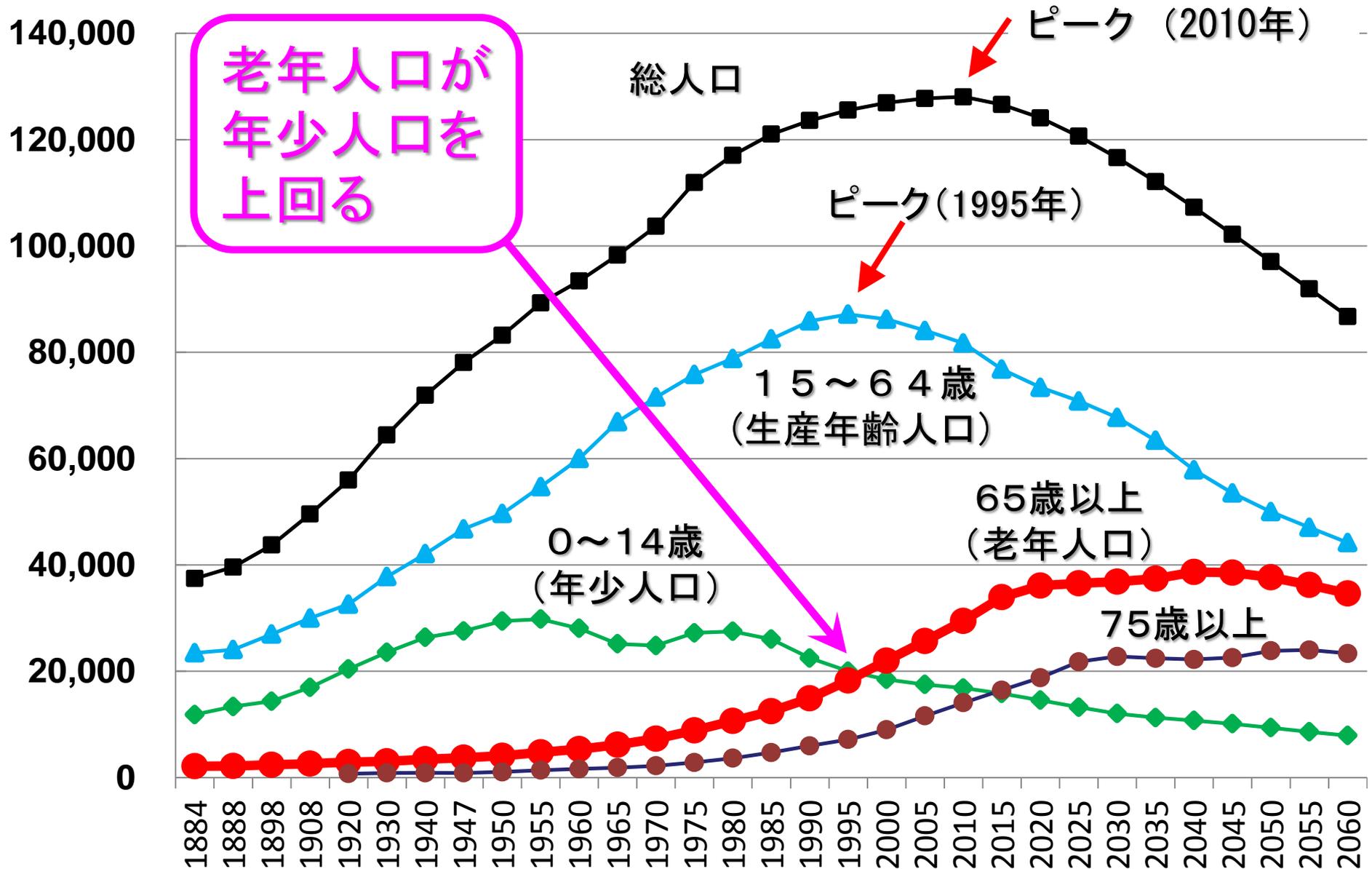


「経口抗腫瘍療法におけるアドヒアランス」で検索

# 少子高齢・人口減少社会における 高齢者の役割とアドヒアランス

アドヒアランスは、いつの時代でも、  
どんな社会でも重要なのですが、今  
日およびこれからの少子高齢・人口  
減少社会におけるアドヒアランスを  
高齢者の役割という観点から考えて  
みたいと思います。

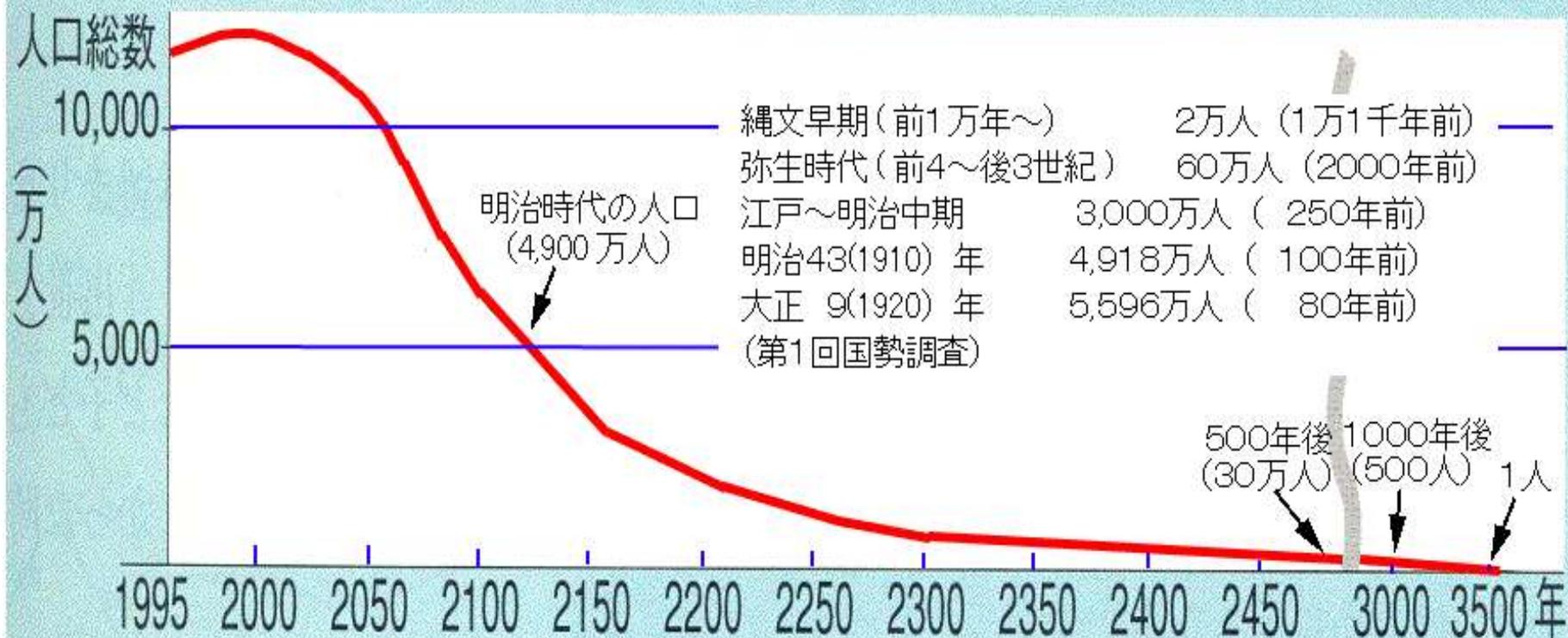
# 少子高齢・人口減少社会の到来



# 将来の日本人口

## 1500年後には1人？ 日本の消滅？

仮に、出生率、死亡率が1996（平成8）年のままとした場合の将来の日本の人口



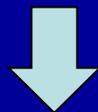
資料：国立社会保障・人口問題研究所「人口問題研究」(第53巻, 第3号, 1997年)

少子(しょうし)問題 = 笑止(しょうし)問題 = 勝事(しょうし: 普通でない)問題

それはともかく

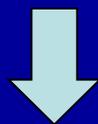


これまでの人類の歴史において、老年人口つねに少数派（マイノリィ）であったが、年少人口に代わって、生産年齢人口に次いで2番目に多い人口になった＝セカンド・マジョリティーとしての老年人口



## 生産年齢人口のパートナー

として多くの役割を担わなければならないー大勢力の集団になった



いまや社会は高齢者に多くの領域ー経済・政治・文化・社会ーでさまざまな役割を担うことを期待せずには成り立たなくなってきた

# 高齢者に対する役割期待の変化

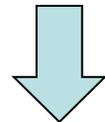
社会が豊かで高齢者が少数派／あまり高齢化していない時代の高齢者に対する役割期待

**役割なき役割**

**(果たすべき重要な役割を持たない)**

しかし

**少子高齢・人口減少社会**の到来が、高齢者に対する役割期待の変化をもたらした



# 少子高齢・人口減少社会において 社会が高齢者に期待する役割

労働力として生産を担う役割

消費人口として経済を支える役割

有権者として政治に果たす役割

自立生活可能な健康を維持する役割

地域の担い手としての役割

・ ・ ・ ・ ・

社会の側からの高齢者への要請

→ 自立と社会貢献（役割の遂行）

個人の側の希望

→ 健康で活動的な高齢期



思惑の一致



アクティブ・エイジング

アクティブ！

アクティブ！

って言うけど？

アクティブに生きる！！

って言われても……

# アクティブとは

(国連第2回世界高齢化会議2002年)

○単に身体的に活動的ということではない

○社会的、経済的、文化的、政治的な事柄に継続的に参加・関与することを通じて、家族、友人、地域、社会に貢献

○自立、参加、尊厳、優しさ、自己充実を原則

○世話される対象から権利の主体へ

体が弱くても、病人でも、社会的、経済的、文化的、政治的な事柄に継続的に参加・関与することはできる。

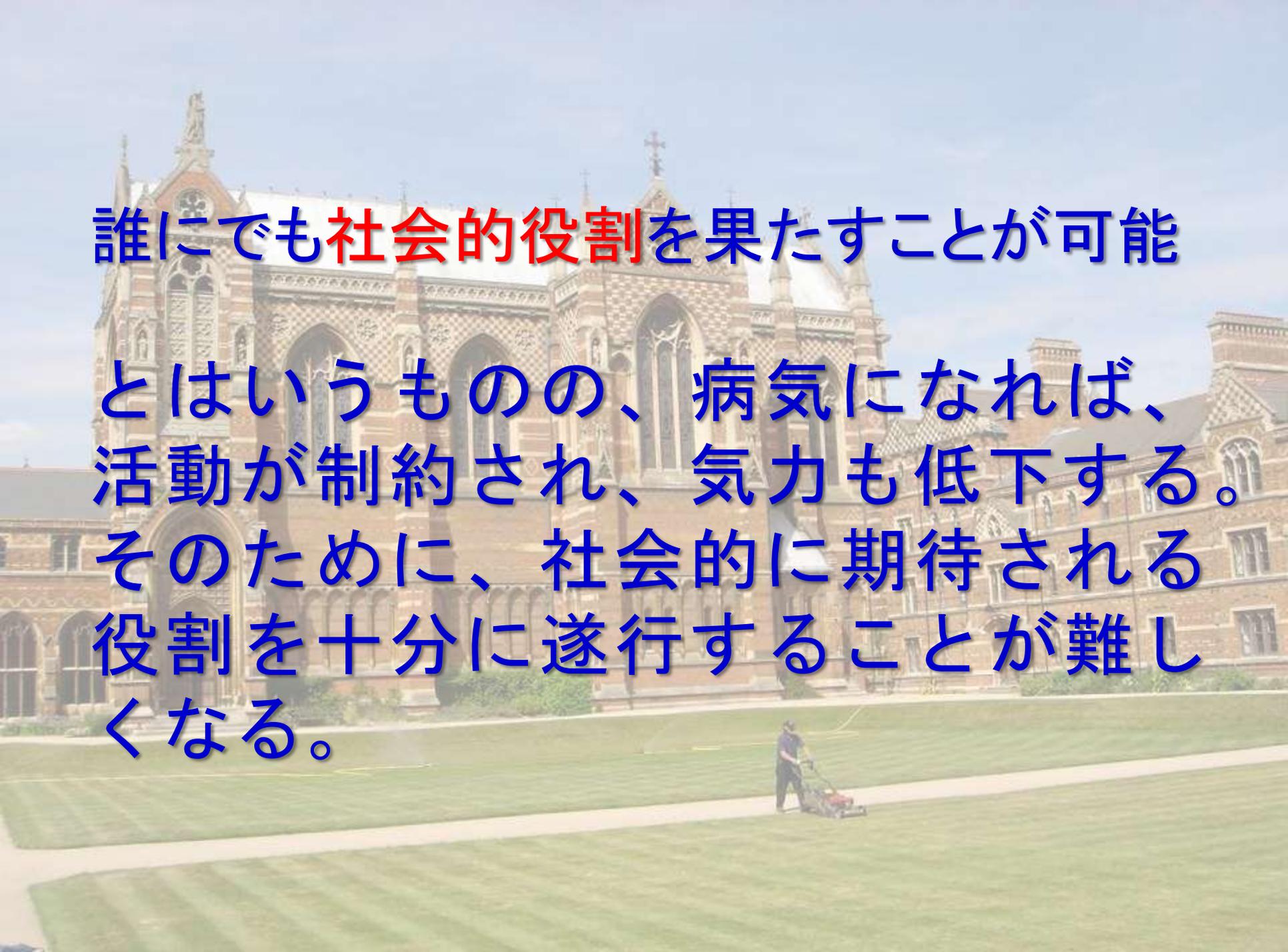


誰にでもアクティブ・エイジングが可能



誰にでも社会的役割を果たすことが可能

社会的役割: その社会が人々に期待する役割

A large Gothic-style brick building with a person mowing a lawn in the foreground. The building features intricate stonework, pointed arches, and a central tower with a cross. The lawn is green and well-maintained, with a person in a dark uniform pushing a red lawnmower. The sky is a clear, pale blue.

誰にでも**社会的役割**を果たすことが可能

とはいうものの、病気になれば、活動が制約され、気力も低下する。そのために、社会的に期待される役割を十分に遂行することが難しくなる。

# 病気と社会的役割

## 病気は

○その人に期待される役割を十分に遂行する能力が損なわれている状態

○一般に、病気は、本人の意志とは無関係に発生する。あえて病気になろうとは、ふつうは考えない。



## そこで、病気は

○健康なときに期待される役割の遂行／責任・義務を免除される最大の理由になる。医師は、それを正当化する主体(診断／診断書)。

# 病人・患者の役割

健康なときに期待される役割の遂行  
／責任・義務が免除される代わりに  
新たな役割が生じる。



病人や患者にも社会的な役割がある



病人役割 患者役割

# 病人／患者に期待される社会的役割

- 回復しようとする明確な目標を持つ
- 回復のために専門家の援助を求める
- 専門家の指示に従う
- 効果的な治療を目指して専門家と協力

- 急性／一時的な病気と慢性疾患との違い
- 予防や健康維持・健康管理に努める
- 病気を受容し、病気と共存ということも

# 病人役割・患者役割とアドヒアランス

病人役割・患者役割を認知して（役割認知）  
して、それを遂行する（役割遂行）

||

服薬、食生活の改善、生活習慣の修正など  
患者と医療者が相互に合意した治療方針  
に患者自身が主体的に参加すること

||

# アドヒアランス

# アドヒアランスに関わる社会的条件

周囲の理解と協力  
充実した医療制度  
正しい医療情報の提供  
生活支援

■ ■ ■

2007 5 4

# 補償を伴う選択的最適化とアドヒアランス

高齢期：身体的能力や経済力など、さまざまな活動能力が低下・喪失していく過程



健康で幸せな老い＝サクセスフル・エイジングを実現するための戦略



喪失の最小化と獲得の最大化のために補償を伴う選択的最適化という戦略

# 補償を伴う選択的最適化の例とアドヒアランス

目標実現のための戦略－喪失の最小化と獲得の最大化

高齢者のマラソンランナーは、**勝つという目標**を達成するために、同年齢の大会に出場する**(選択)**。軽くて走りやすいランニングシューズに変え**(補償)**、体調維持のために食事を工夫する**(最適化)**。



病人・患者は、**回復するという目標**を達成するために、専門家・専門的機関を訪れる**(選択)**。薬や栄養剤で治癒力をカバーし**(補償)**、食生活や生活習慣を改善する**(最適化)**。



## アドヒアランス

ご静聴ありがとうございました  
皆様のご活躍をお祈りいたします

